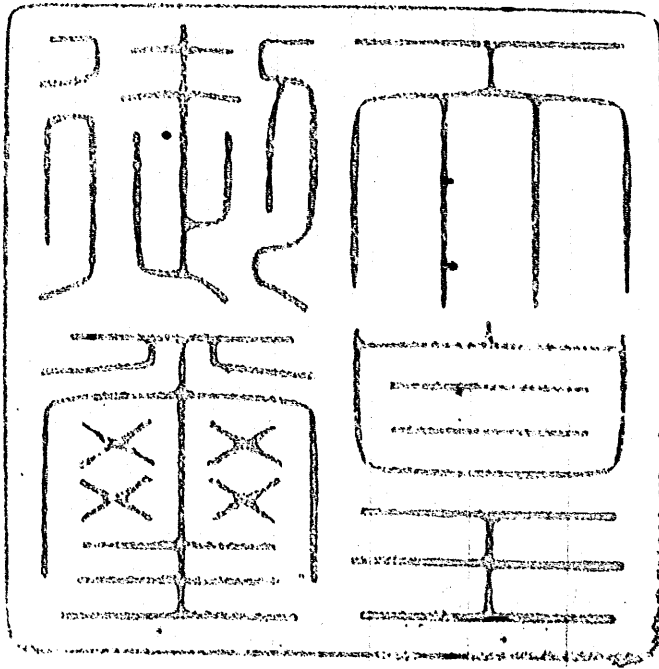


法律第四十一号

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル新聞紙法ヲ
裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治四十二年五月五日

内閣總理大臣侯爵桂 大正
 陸軍大臣子爵寺内 正毅
 外務大臣伯爵小村 壽次郎
 海軍大臣男爵齋藤 實
 内務大臣法學士子爵平田 東助
 司法大臣士男子爵岡部 長職

法律第四十一號

新聞紙法

第一條

本法ニ於テ新聞紙ト稱スルハ
 一定ノ題號ヲ用井時期ヲ定メ又ハ六
 箇月以内ノ期間ニ於テ時期ヲ定メス
 シテ發行スル著作物及定時期以外ニ
 本著作物ト同一題號ヲ用井テ臨時發
 行スル著作物ヲ謂フ
 同一題號ノ新聞紙ヲ他ノ地方ニ於テ
 發行スルトキハ各別種ノ新聞紙ト看

做ス

第二條

左ニ掲クル者ハ新聞紙ノ發行

人又ハ編輯人タルコトヲ得ス

一 本法ヲ施行スル帝國領土内ニ居

住セサル者

二 陸海軍軍人ニシテ現役若ハ召集

中ノ者

三 未成年者禁治産者及準禁治産者

四 懲役又ハ禁錮ノ刑ノ執行中又ハ

執行猶豫中ノ者

第三條

印刷所ハ本法ヲ施行スル帝國

領土外ニ之ヲ設クルコトヲ得ス

第四條

新聞紙ノ發行人ハ左ノ事項ヲ

一 内務大臣ニ届出ツヘシ

二 題號

三 掲載事項ノ種類

四 時事ニ関スル事項ノ掲載ノ有無

五 發行ノ時期若時期ヲ定メサルト

キハ其ノ旨

五 第一回發行ノ年月日

六 發行所及印刷所
七 持主ノ氏名若法人ナルトキハ其
ノ名稱及代表者ノ氏名
八 發行人編輯人及印刷人ノ氏名年
齡但シ編輯人二人以上アルトキ
ハ其ノ主トシテ編輯事務ヲ擔當
スル者ノ氏名年齡
前項ノ届出ハ持主又ハ其ノ法定代理
人ノ連署シタル書面ヲ以テシ第一回
發行ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官

廳ニ差出スヘシ

第五條 前條第一項第一號乃至第三號
ノ事項ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以
前ニ第四號若ハ第六號ノ事項又ハ持
主編輯人印刷人ノ變更ハ變更前又ハ
變更後七日以内ニ前條ノ手續ニ依リ
發行人ヨリ之ヲ内務大臣ニ届出ツヘ
シ但シ持主變更ノ届出ニハ死亡ニ因
ル場合ノ外新舊持主又ハ其ノ法定代
理人ノ連署ヲ要ス

第六條 死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル發行人ノ權利及義務ヲ承繼シタル發行人ハ其ノ發行人ト爲リタル日ヨリ七日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スベシ
前項ノ場合ノ外發行人ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以前ニ前條ノ手續ヲ爲スベシ

第七條 新聞紙ハ届出ヲ爲シタル發行時期又ハ發行休止ノ日ヨリ起算シテ

百日間、三回發行ノ期間ヲ通シテ百日ヲ起スル新聞紙ニ在リテハ三回發行ノ期間之ヲ發行セサルトキハ其ノ發行ヲ廢止シタルモノト看做ス

第八條 發行人若ハ編輯人死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リ後任ノ發行人若ハ編輯人ヲ定メサル間又ハ發行人若ハ編輯人一箇月以上本法ヲ施行スル帝國領土外ニ旅行スル場合ニ於テハ假發行人若ハ假編輯人ヲ設クル

ニ非サレハ新聞紙ノ發行ヲ爲スコト
ヲ得ス

發行人及編輯人ニ関スル本法ノ規定
ハ假發行人及假編輯人ニ之ヲ準用ス

第九條 編輯人ノ責任ニ関スル本法ノ
規定ハ左ニ掲クル者ニ之ヲ準用ス

- 一 編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔
當シタル者
- 二 掲載ノ事項ニ署名シタル者
- 三 正誤書辯駁書ノ事項ニ付テハ其

ノ掲載ヲ請求シタル者

第十條 新聞紙ニハ發行人、編輯人、印刷
人ノ氏名及發行所ヲ掲載スヘシ

第十一條 新聞紙ハ發行ト同時ニ内務
省ニ二部管轄地方官廳、地方裁判所、檢
事局及區裁判所、檢事局ニ各一部ヲ納
ムヘシ

第十二條 時事ニ関スル事項ヲ掲載ス
ル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ保證トシ
テ左ノ金額ヲ納ムルニ非サレハ之ヲ

發行スルコトヲ得ス

- 一 東京市、大阪市及其ノ市外三里以内ノ地ニ於テハ二千圓
 - 二 人口七萬以上ノ市又ハ區及其ノ市又ハ區外一里以内ノ地ニ於テハ千圓
 - 三 其ノ他ノ地方ニ於テハ五百圓
- 前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニ在リテハ其ノ半額トス
- 保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有

價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十三條 保證金ニ對スル權利及義務ハ發行人變更ノ場合ニ於テ後任發行人之ヲ承繼スルモノトス

第十四條 保證金ハ發行ヲ廢止シタルトキニ非サレハ其ノ還附ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ

在ラス

第十五條 保證金ヲ納ムル新聞紙ニ関シ
シ發行人又ハ編輯人罰金又ハ刑事訴訟費用ノ言渡確定ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ完納セサルトキハ檢事ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

第十六條 保證金ハ其ノ闕額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ填補スルニ非サレハ其ノ新聞紙ヲ發行スルコトヲ得ス

但シ闕額ヲ生シタル日ヨリ七日以内ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 新聞紙ニ掲載シタル事項ノ錯誤ニ付其ノ事項ニ関スル本人又ハ直接關係者ヨリ正誤又ハ正誤書辯駁書ノ掲載ヲ請求シタルトキハ其ノ請求ヲ受ケタル後次回又ハ第三回ノ發行ニ於テ正誤ヲ爲シ又ハ正誤書辯駁書ノ全文ヲ掲載スヘシ
正誤辯駁ハ原文ト同號ノ活字ヲ用ウ

ヘシ

正誤、辯駁ノ趣旨法令ニ違反スルトキ
又ハ請求者ノ氏名住所ヲ明記セサル
トキハ之ヲ掲載スルコトヲ要セス
正誤書、辯駁書ノ字數原文ノ字數ヲ超
過シタルトキハ其ノ超過ノ字數ニ付
發行人ノ定メタル普通廣告料ト同一
ノ料金ヲ要求スルコトヲ得

第十八條 官報又ハ他ノ新聞紙ヨリ抄
録セシ事項ニシテ官報又ハ新聞紙ニ

於テ正誤シ又ハ正誤書、辯駁書ヲ掲載
シタルトキハ本人又ハ直接関係者ノ
請求ナシト雖其ノ官報又ハ新聞紙ヲ
得タル後前條ノ例ニ依リ正誤シ又ハ
正誤書、辯駁書ヲ掲載スヘシ但シ料金
ヲ要求スルコトヲ得ス

第十九條 新聞紙ハ公判ニ付スル以前
ニ於テ豫審ノ内容其ノ他檢事ノ差止
メタル捜査又ハ豫審中ノ被告事件ニ
關スル事項又ハ公開ヲ停メタル訴訟

ノ辯論ヲ掲載スルコトヲ得ス。

第二十條 新聞紙ハ官署公署又ハ法令
ヲ以テ組織シタル議會ニ於テ公ニセ
サル文書又ハ公開セサル會議ノ議事
ヲ許可ヲ受ケスシテ掲載スルコトヲ
得ス請願書又ハ訴願書ニシテ公ニセ
ラレザルモノ亦同シ

第二十一條 新聞紙ハ犯罪ヲ煽動若ハ
曲庇シ又ハ犯罪人若ハ刑事被告人ヲ
賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷

害スルノ事項ヲ掲載スルコトヲ得ス

第二十二條 第四條乃至第六條ノ届出
ヲ爲カス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テ
セス又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ填補
スヘキ場合ニ於テ之ヲ納メ若ハ之ヲ
填補セスシテ發行シタルトキハ正當
ノ届出ヲ爲シ又ハ保證金ヲ納メ若ハ
之ヲ填補スル迄管轄地方官廳ニ於テ
新聞紙ノ發行ヲ差止ムヘシ

第二十三條 内務大臣ハ新聞紙掲載ノ

事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ必要ノ場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ内務大臣ハ同一主旨ノ事項ノ掲載ヲ差止ムルコトヲ得

第二十四條

内務大臣ハ外國若ハ本法

ヲ施行セサル帝國領土ニ於テ發行シタル新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認

ムルトキハ其ノ本法施行ノ地域内ニ於ケル發賣及頒布ヲ禁止シ必要ナル場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得新聞紙ニ對シ一年以内ニ二回以上前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ内務大臣ハ其ノ新聞紙ヲ本法施行ノ地域内ニ輸入又ハ移入スルヲ禁止スルコトヲ得

第二十五條 前條第二項ニ依ル禁止ノ命令ニ違反シテ輸入又ハ移入シタル

新聞紙及第四十三條ニ依ル禁止ノ裁
判ニ違反シテ發賣又ハ頒布スルノ目
的ヲ以テ印刷シタル新聞紙ハ管轄地
方官廳ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得
第二十六條 本法ニ依リ差押ヘタル新
聞紙ニシテ二年以上其ノ差押ヲ解除
セラレサルトキハ差押ヲ執行シタル
行政官廳ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ
得

第二十七條 陸軍大臣海軍大臣及外務

大臣ハ新聞紙ニ對シ命令ヲ以テ軍事
若ハ外交ニ関スル事項ノ掲載ヲ禁止
シ又ハ制限スルコトヲ得

第二十八條 第二條ニ該當スル者ニシ
テ事實ヲ詐リ發行人又ハ編輯人ト爲
リタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ五
十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第三條ニ違反シタル者ハ
三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 第四條乃至第六條ノ届出ヲ

爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセ
ス又ハ第四條第一項第一號第四號乃
至第六號ニ関シ届出ノ事項ニ違反シ
タル行爲ヲ爲シ又ハ第十一條ニ違反
シタルトキハ發行人ヲ百圓以下ノ罰
金又ハ科料ニ處ス

第三十一條 第四條第一項第二號又
ハ第三號ニ関シ届出ノ事項ニ違反シ
タル行爲ヲ爲シタルトキハ發行人及
編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ

處ス

第三十二條 第八條第一項ニ違反シタ
ルトキハ發行人死亡シ又ハ第二條ニ
該當スルニ至リタル場合ニ於テハ實
際發行ヲ爲シタル者其ノ他ノ場合ニ
於テハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ
科料ニ處ス

第三十三條 第十條ニ違反シ又ハ掲載
ニ實ヲ以テセサルトキハ發行人及編
輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處

ス

第三十四條 第十二條第一項、第二項、第十六條ニ違反シ又ハ第二十二條ニ依ル差止ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 第十七條第一項、第二項又ハ第十八條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

前項ノ罪ハ私事ニ係ル場合ニ於テ告

訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三十六條 第十九條、第二十條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 第二十一條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ三月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第二十三條ニ依ル禁止若ハ差止ノ命令、第二十四條ニ依ル禁止ノ命令、第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判

ニ違反シタルトキハ發行人編輯人ヲ
六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰
金ニ處ス情ヲ知リテ其ノ新聞紙ヲ發
賣又ハ頒布シタル者ハ二百圓以下ノ
罰金ニ處ス

第三十九條 第二十三條第一項第二十
四條第一項第二十五條ニ依ル差押處
分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ六月以下
ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス
第四十條 第二十七條ニ依ル禁止又ハ

制限ノ命令ニ違反シタルトキハ發行
人編輯人ヲ二年以下ノ禁錮又ハ三百
圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗
ヲ害スル事項ヲ新聞紙ニ掲載シタル
トキハ發行人編輯人ヲ六月以下ノ禁
錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體
ヲ變改シ又ハ朝憲ヲ紊亂セムトスル
ノ事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ

發行人、編輯人、印刷人ヲ二年以下ノ禁錮及三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 第四十條乃至第四十二條

ニ依リ處罰スル場合ニ於テ裁判所ハ其ノ新聞紙ノ發行ヲ禁止スルコトヲ

得

第四十四條 本法ニ定メタル犯罪ニハ

刑法併合罪ノ規定ヲ適用セス

第四十五條 新聞紙ニ掲載シタル事項

ニ付名譽ニ對スル罪ノ公訴ヲ提起シ

タル場合ニ於テ其ノ私行ニ涉ルモノヲ除クノ外裁判所ニ於テ惡意ニ出テス專ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ヲ證明スルコトヲ許スコトヲ得若其ノ證明ノ確立ヲ得タルトキハ其ノ行爲ハ之ヲ罰セス公訴ニ關聯スル損害賠償ノ訴ニ對シテハ其ノ義務ヲ免ル

附則

新聞紙條例ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ヨリ發行スル新聞紙ニシテ
本法ノ規定ニ依リ保證金ニ闕額ヲ生ス
ルニ至リタルトキハ本法施行ノ日ヨリ
三年間其ノ填補ヲ猶豫ス
第二十六條ノ規定ハ本法施行前ノ差押
ニ係ル新聞紙ニ之ヲ準用ス